

# 第1回

# 高知県がんフォーラム

～ここまで進んだ高知県のがん治療～

**日時** 平成19年12月8日(土)  
13:00～16:30(開場 12:30)

**場所** 高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

**基調講演**  
13:10～13:50

がん患者団体支援機構理事長

**俵 萌子さん**

—演題—

「千の風に包まれて…」



**講演**  
13:50～15:00

《進行》**森田 荘二郎氏**(高知医療センターがんセンター長)

**I.片岡 隆策氏**(高知県健康福祉部健康づくり課)

「高知県のがん政策」

**II.小林 道也氏**(高知大学医学部医療学講座教授)

「腹腔鏡手術の最前線～胃がんと大腸がんを中心に」

**III.小川 恭弘氏**(高知大学医学部放射線医学講座教授)

「最近の放射線治療の進歩」

**IV.辻 晃仁氏**(高知医療センター腫瘍内科(旧 化学療法科)科長)

「最近の抗がん剤治療の進歩」

**パネル  
ディスカッション**  
15:20～16:20

《司会》**堀見 忠司氏**(高知医療センター病院長)

《パネリスト》**森田 荘二郎氏、小林 道也氏、小川 恭弘氏、辻 晃仁氏**

**片岡 隆策氏、山口 龍彦氏**(高知緩和ケア研究会 代表世話人 高知厚生病院副院長)

**オカリナ演奏** 16:20～16:25

**大目 真壱さん**

**オープニングアクト** **松尾 貴臣さん**

**閉会のあいさつ** **倉本 秋氏**(高知大学医学部附属病院長)

共催：高知がん診療連携協議会、高知県、高知がん患者会一喜会、中四国広域がんプロフェッショナル養成コンソーシアム、RKC高知放送  
後援：高知県医師会、高知県歯科医師会、高知県薬剤師会、高知県病院薬剤師会、高知県看護協会、高知新聞社、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知  
KSSさんさんテレビ、高知緩和ケア研究会、高知大学医学部附属病院、高知県・高知市病院企業団立高知医療センター  
NPO法人キャンサーネットジャパン  
協賛：フリストル・マイヤーズ(株)

事務局 NPO法人キャンサーネットジャパン お問い合わせ RKC高知放送 営業推進部 TEL 088-825-4235



◎基調講演

作家  
**俵 萌子** (たわら もえこ)

1975年～1985年「国際女性年をきっかけに行動を起こす女たちの会」で、DV問題にとり組み、シェルターを作る運動をする。1980年～1984年まで、東京都中野区で準公選の教育委員をつとめる。  
2001年～現在、女性がん患者の会「一、二の三で温泉に入る会」の代表。2006年1月～現在、NPO法人「がん患者団体支援機構」理事長。著書多数。俵萌子美術館長。



◎講演・パネリスト

高知医療センター腫瘍内科(旧 化学療法科) 科長  
**辻 晃仁** (つじ あきひと)

高知県生まれ。岡山大学医学部医学科卒業。同大学大学院医学研究科修了。  
高知県立中央病院内科医長・消化器科医長をへて平成17年3月より現職(消化器科医長兼務)日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医、日本内科学会 認定内科医・専門医・指導医、日本癌治療学会 臨床試験登録医、日本消化器病学会専門医、日本老年医学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、日本超音波医学会専門医、米国腫瘍学会(American Society of Clinical Oncology) Active member、高知大学医学部 臨床准教授



◎基調講演/演者紹介

高知がん患者会「一喜会」会長  
**安岡 佑莉子** (やすおか ゆりこ)

1999年 娘の胃がん発症からがんに関わりを持つ  
2002年 高知県がん患者会「一喜会」を設立  
2005年 [がん医療の充実についての請願書]を県議会に提出し採択される  
2006年 [抗がん剤治療専門医の早期育成を求める陳情書]を県議会に提出  
2007年 高知県がん対策推進条例の議員提案に力を注ぎ、3月16日県議会で可決される  
2007年 高知県より委託を受け「がん相談センターこうち」センター長に就任



◎講演/進行

高知医療センターがんセンター長・放射線療法科 科長  
**森田 荘二郎** (もりた そうじろう)

高知県出身。1981金沢大学医学部卒業。高知医科大学第一外科、放射線科を経て1985年高知県立中央病院放射線科。2005年より高知医療センター放射線療法科勤務。日本医学放射線学会代議員・専門医、日本インターベンショナルラジオロジー学会評議員・専門医。専門は画像診断、インターベンション治療および放射線治療。がんセンター長としてセカンドオピニオン外来、院内がん登録、公開講座、がん相談窓口等を運営し、現在に至る。



◎講演・パネリスト

高知健康福祉部 健康づくり課長  
**片岡 隆策** (かたおか りゅうさく)

高知県生まれ。熊本大学医学部卒業。高知医科大学大学院終了(医学博士)  
1991年高知県庁に入庁。1994年～2005年高知県内の保健所に保健所長。  
2006年4月より現職。



◎パネリスト

高知厚生病院 副院長  
**山口 龍彦** (やまぐち たつひこ)

1983年 山口大学医学部卒業、天理よろづ相談所病院レジデント  
1989年 高知医科大学大学院医学博士号取得  
1990年 佐川町立高北病院整形外科医長  
1992年 高知赤十字病院整形外科を経て、1993年より現職  
1992年 アメリカ東部ホスピス研修。1993年より高知ターミナルケア研究会をはじめる。  
1995年 ホスピス医となり高知緩和ケア研究会を設立  
代表世話人ほか高知大学医学部臨床教授  
日本ホスピス在宅ケア研究会理事  
日本死の臨床研究会世話人を務めている



◎講演・パネリスト

高知大学医学部医療学講座医療管理学分野 教授  
高知大学医学部附属病院がん治療センター 部長  
**小林 道也** (こばやし みちや)

岡山県生まれ。  
1984年 高知医科大学卒業(第一期生)医学博士  
1986年～1988年 ハワイ大学医学部病理学教室留学  
1988年 高知医科大学医学部第一外科助手  
1996年 講師 2004年 助教授 2006年～現職  
専門:消化管外科、内視鏡外科、癌化学療法  
日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本癌治療学会臨床試験登録医  
日本内視鏡外科学会技術認定医  
日本がん治療認定機構暫定教育医



◎パネルディスカッション司会

高知医療センター 病院長  
**堀見 忠司** (ほりみ ただし)

高知県生まれ、昭和45年京都府立医科大学卒業、岡山大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス分校(UCLA)で腫瘍免疫と移植免疫に励み、消化器を中心としたがん医療と腎移植を中心とした移植医療の臨床外科を研鑽し数多くの手術症例を経験し、がんと移植に関する論文を多数発表した。外科、消化器科、臓器移植に関する種々の学会の理事、評議員、世話人を務めている。高知県立中央病院病院長を経て、平成18年より現在に至る。柔道5段。



◎講演・パネリスト

高知大学医学部放射線医学講座 教授  
**小川 恭弘** (おがわ やすひろ)

大阪府生まれ。神戸大学大学院医学研究科修了。  
兵庫県立成人病センターを経て、1981年高知医科大学放射線科講師、1985年同助教授、2005年より教授、同附属病院放射線部長・放射線科長。1988年6月より1年間、カナダのブリティッシュコロンビア大学がんセンターにて乳房温存療法および粒子線治療を研修。1989年より乳房温存療法を開始。日本放射線腫瘍学会理事・同認定医、乳腺専門医、放射線科専門医。



◎閉会あいさつ

高知大学医学部附属病院 病院長  
**倉本 秋** (くらもと しゅう)

高知県仁淀川町(旧吾川村)出身。  
1976年東京大学医学部卒業。内科、麻酔科研修後、1978年東京大学第3外科入局。大腸内視鏡検査、大腸癌の外科治療、ストーマ・創傷ケア、医学教育、感染対策などを専門とする。1997年7月東京大学消化管外科学助教授。1998年2月高知医科大学総合診療部教授として赴任。2003年10月旧高知大学・高知医科大学の統合に合わせて現職に就任。2004年4月国立大学法人高知大学理事(附属病院長兼任)。